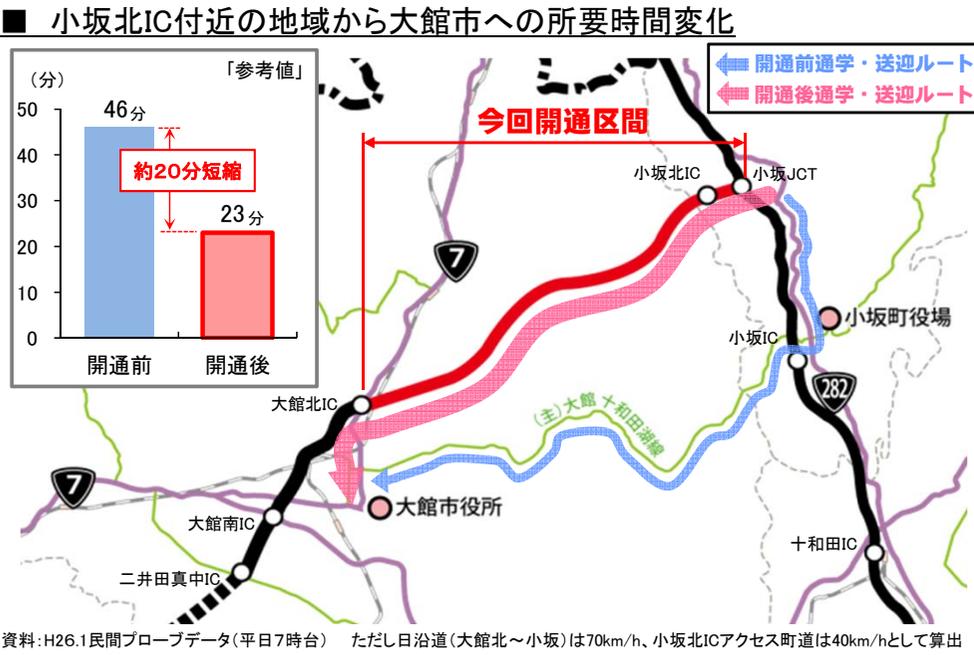


【開通3ヶ月後】秋田自動車道 おおだてきた こそか 秋田道(大館北～小坂)が開通して (平成25年11月30日開通)

- ① 県境を越えた救急搬送、
冬場も安定した搬送が可能に
- ② 小坂町から大館市への通学や送迎、
冬場の時間短縮や安全性に効果

① 開通後、大館市から弘前方面への搬送は**すべて大館北～小坂を利用**。
冬期も安定走行が可能となり、搬送患者の負担が軽減しました。
小坂町や鹿角市から大館市街方面への搬送にも利用されています。

② 小坂町から大館市内への**通学や送迎時間が短縮**。
トンネルが多く冬期の安全・安心な走行に効果が現れています。



・搬送時間や距離が若干増えたものの、**振動や速度の加減(ストップ&ゴー)減少**で安定した走行が可能となり**傷病者への負担軽減**につながっている。

・弘前方面への搬送の際は**秋田道大館北～小坂JCTから東北自動車道を第一選択肢**とし、安定確実な救急搬送を心掛けたい。

(大館市消防本部ヒアリングH26.2より)



・冬期間であり**安定走行可能な高速道路**を利用した。小坂町からは条件がよければ5～10分程度の短縮となることから、**今後も積極的に利用したい**。

・これまで搬送中に救命措置が必要な場合は、一般道利用時には走行速度をかなり落とさなければならなかった。高速では車内の揺れが少ないため、**速度を落とさず処置できるし、搬送時間短縮にもメリットが大きい**。

(鹿角広域行政組合消防本部ヒアリングH26.2より)

- ・大館北～小坂間の開通により、**通学時間が20分位短縮**。朝の時間に余裕ができました。(学生)
- ・大学入試センター試験は大館市内が会場で、当日は雪の影響で一般道は混雑したようだが、開通区間はトンネルが多いので影響がなく**高速道路の効果を実感**した。(父兄)
- ・大館市内の高校までの**送迎時間が20分位短縮**。早期の日沿道全線開通を心待ちにしています。(父兄)
- ・自宅から高校まで、**複数のルートがあるのは安心**する。早期の全線開通に大きな期待をします。(父兄)
- ・自宅から小坂北ICまで距離があるため、開通後も樹海ラインを使っているが、**樹海ラインの車の台数が減って運転しやすくなった**。(父兄)

小坂町から大館市への通学者のうち、学生1名、父兄4名の声
(送迎父兄ヒアリングH26.2、学生及び送迎父兄アンケートH26.3より)